

JCI セメント系材料の自己修復性の評価とその利用法研究委員会
第4回 委員会 議事録(案)

日 時 : 2008 年 6 月 11 日 13:00~17:00

場 所 : JCI 第 4 会議室

出席者 : 五十嵐委員長, 西脇, 閑田, 佐川, 白坂, 細田, 丸山, 福田(事務局), 国枝

欠席者 : 浅野, 安, 稲田, 濱田

以上 9 名(敬称略)

配布資料:

- 4-1 第 4 回委員会議事次第
- 4-2 第 3 回議事録(案)
- 4-3 ESEM の紹介(佐川委員)
- 4-4 研究集会についてのメモ
- 4-5 研究集会チラシ
- 4-6 コンクリートの自己修復の再整理(国枝幹事)
- 4-7 フライアッシュを用いた自己修復コンクリート(佐川委員)
- 4-8 自動修復(西脇幹事)
- 4-9 パネルディスカッション話題提供(三橋先生)
- 4-10 反訳見積書
- 4-11 報告書目次案

議事:

1. 前回議事録の確認

事前に配信された議事録案(資料 4-2)が承認された。

2. 新任委員の自己紹介

平尾委員に代わって, 新たに委員として参画される白坂委員の自己紹介および ESEM 等についての紹介が行われた。

3. 研究集会について

7 月 10 日に JCI 年次大会福岡にて開催される研究集会について審議し, 以下の点を確認, 決定した。

<プログラムについて>

- | | |
|-------------|---|
| 9:00-9:05 | 委員会趣旨説明, 概要など・・・五十嵐 心一 |
| 9:05-9:35 | コンクリートの自己修復の再整理・・・国枝 稔 |
| 9:35-10:50 | 委員からの最新情報(質疑を含め約 15 分/人)
<自然治癒系>・・・濱田 秀則, 佐川 孝広
<自律治癒系>・・・安 台浩, 細田 暁
<自動修復系>・・・西脇 智哉 |
| 10:50-11:00 | 休憩 |
| 11:00-12:00 | パネルディスカッション |

<運営について>

- ・ 委員は, 当日 8:00 に会場に集合する(各委員)。
- ・ パネリストに案内文書を送付する(西脇幹事が作成)。
- ・ パネリストへの謝礼は, JCI の規定に準じた金額とする。なお, 現金, 領収書などの手配を JCI 年次大

会事務局に依頼する(西脇幹事).

- ・ パネリストのリボン, 水差しの手配も依頼する(西脇幹事).
- ・ 名刺受けの手配を検討する(閑田委員).
- ・ 受付の看板およびパネリストの名前の看板を作成する(閑田委員).
- ・ 受付では, 氏名, 所属等を名簿に記載してもらおう(西脇幹事). 最終報告会の案内に使用するとよい.
- ・ プログラムを別途映写するプロジェクターとスクリーンセットを手配する(西脇幹事).
- ・ 学生アルバイトには, 11 時過ぎまでは受付を依頼する(マイク係と連動).
- ・ 反訳業者の対応は五十嵐委員長が行う.

<配布資料の準備>

- ・ 発表者は, 1 枚/1 分程度のパワーポイントのファイルを, 6 月 25 日(水)までに西脇幹事まで送付する. 西脇幹事は, 6 枚/ページ程度に編集し, 7 月 1 日(火)までに閑田委員へ送付する. 閑田委員は, 国枝幹事から送付される表紙関係の資料とあわせたものを各委員に送付するとともに, 印刷に出し(120 部), 福岡国際会議場まで送付する.
- ・ 期間中のリサーチプラザなどで配布するチラシも 300 部印刷する(閑田委員).
- ・ 資料のデジタルファイルは, 事前にパネリストに送付する(各担当者).

<パネルディスカッション>

- ・ 基本的には, 三橋先生にお任せするが, 意見がない場合などは委員が積極的に参加する.
- ・ 話題にして欲しい内容等があれば, 早めに西脇幹事まで連絡する.

<その他>

- ・ 7 月 9 日(大会初日の 12:30~)にリサーチプラザが開催される. 国枝幹事を担当とするが, 各委員もできる限り参加する.

4. 委員会報告書に関する審議

資料 4-11 をもとに, 報告書の目次案の確認および担当を以下のように決定した. ただし, 目次案については, 文献を調査した後に変更可能である.

章	内容	担当者(下線は章の取りまとめ担当)
まえがき	趣旨と活動概要	<u>五十嵐</u>
委員会名簿		
第 1 章 序論	1.1 背景 1.2 本報告書の内容	<u>西脇</u>
第 2 章 自己治癒 ／修復現象と定義	2.1 機能回復現象 2.2 定義(terminology)	<u>西脇</u>
第 3 章 自己治癒 ／修復機構と技術 の現状	3.1 セメントの水和反応と自己治癒 3.2 漏水環境下での自然治癒 3.3 自律的な修復機能の付与 3.4 自動的な修復機構の導入	白坂, 濱田, <u>五十嵐</u> 細田, 閑田 佐川, 安, 細田 西脇, 稲田
第 4 章 自己治癒 ／修復の材料科 学的モデル	4.1 水和反応に基づくモデル 4.2 破壊現象に基づくモデル	<u>丸山</u> , 閑田
第 5 章 自己治癒	5.1 ひび割れ閉合現象の観察	<u>国枝</u> , 浅野, 細田, 佐川

／修復効果の実験的評価	5.2 力学性能回復の評価 5.3 耐久性能回復の評価 5.4 物質移動性能の評価	
第6章 自己治癒／修復機能の設計への取り込みと適用事例	6.1 適用事例 6.2 補修設計と自己修復	細田, 関田 国枝
第7章 他分野における自己修復現象の取扱い		安, 細田, 五十嵐
第8章 セラミックス材料の自己修復現象(寄稿)	横浜国大 高橋先生より	
第9章 JCI 研究会 in 福岡	ここまでのコンクリートの自己修復(研究会パネルディスカッション)	五十嵐
第10章 結論	9.1. 結論 9.2. 展望	西脇
付録	コンクリート工学(三橋先生執筆) コンクリート工学(西脇先生執筆) コンクリート工学(細田先生執筆) セラミックス関係の資料(高橋先生より)	

5. 次回までの課題

前章に記載された担当部分の文献(資料4-11参照)を調査し, 節あるいは項の概要をまとめる(各委員).

6. 次回開催予定

日時:平成20年11月14日(金)13:00-17:00

場所:JCI会議室

以上
(文責:国枝)